



うおっち Watch

発行:湖西中学校区保幼小中+高一貫教育推進委員会 担当:地域連携部会

<タイトルの「うおっち」には15年間の育ちを「地域でWatch(見つめる)」という意味を込めています。>

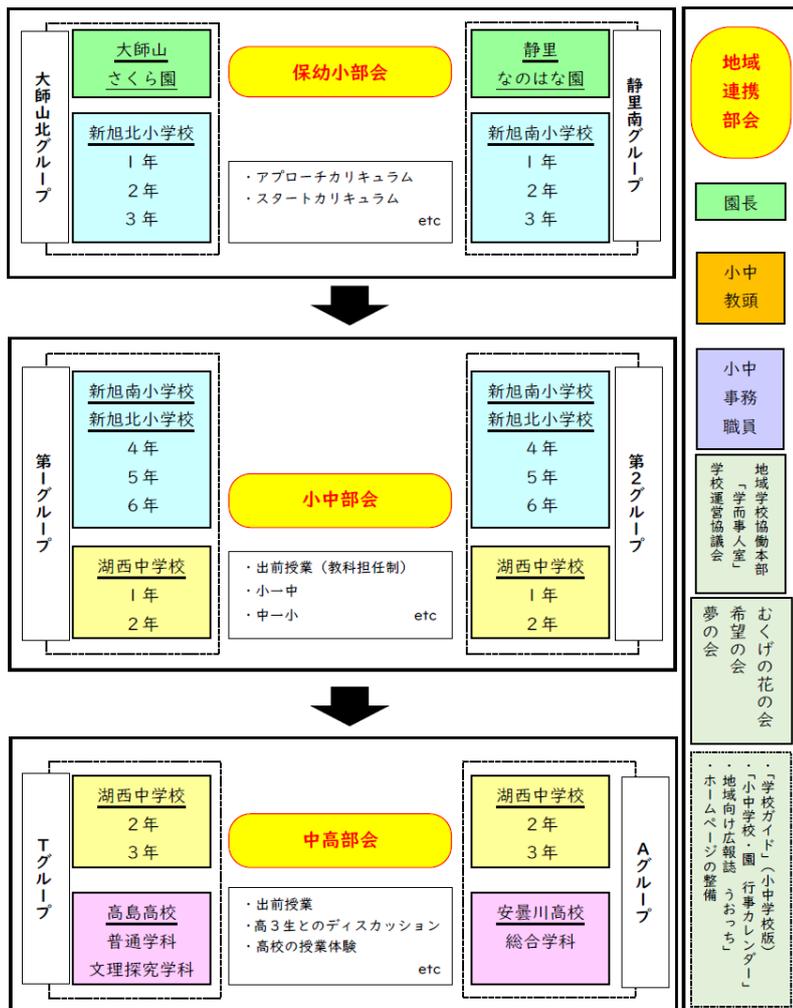
縦をつなぐ「小中一貫教育」と横をつなぐ「地域とともにある学校づくり」、そして、未来につなぐ「キャリア教育」は、高島市の教育の本道と位置付けられています。

このことを受け、新旭地区は、「つながりの中でたくましく学ぶ子ども」の姿をめざし、5つの園・校でつながりながら、乳幼児保育の0歳児から義務教育終了の15歳までの子どもたちの育ちを見つめ、取り組みを進めてきました。異校種の教職員が協働して授業・保育を創造したり、園・小・中の子どもの同士が交流する活動を企画したりして、大きな価値を感じてきたところです。また、保護者・地域の皆さまと園・学校が連携協働し、子どもたちの成長を地域全体で支えていただいているところです。

今年度は、ここに地元の高等学校を含めたつながりとして子どもたちの成長をとらえ、発達段階と学びの連続性を重視した取り組みを進めていきたいと考えています。そしてさらに、保護者や地域の皆さまと園・学校をつなぐ教育活動を展開し、園、学校、地域、家庭が一体となって子どもたちを育てていく、持続可能な取り組みを確立してまいりたいと考えています。

保護者、地域の皆さま方には、引き続きご理解ご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

湖西中学校区保幼小中高一貫教育推進委員長 村田秀俊(湖西中学校長)



令和4年度 部会組織図

今年度より新たな組織(保幼小部会、小中部会、中高部会、地域連携部会)で取り組んでいきます。

令和4年度

湖西中学校区保幼小中 プラス + 高一貫教育【概要】

[湖西中学校区の教育目標]
つながりの中でたくましく学ぶ
子どもの育成

湖西中学校区の教育目標は昨年度までと同じく「つながり」を大切にしながら、「たくましく」学ぶ子どもの育成をめざしていきます。しかしながら昨今の子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。そのような変化の中で、こども園から小学校へ(小1プロブレム・小1の壁)、小学校から中学校へ(中1ギャップ)の接続期の「段差」をいかにして乗り越えていく力を育成していくかに注力しながら進めていきます。さらに今年度は中学校から高校へ(進路選択・決定)という接続期も射程に入れた取り組みを行います。「+高」と付け足されているのはそのような意味です。

保幼小部会

本年度は、園小で共通性の高い教育活動を取り上げ、相互参観（事前・事後研修）を行いながら、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」や互いの教育内容について共通理解を深めるとともに、互いの教育のよさや指導方法等の接続について明らかにしたいと考えています。園では、今の生活や経験が小学校以降の教育にどのようにつながっていくのかを見通し、そのことを意識しながら保育実践に取り組む。また、小学校では、幼児期の経験や学びを踏まえた上で、スタートカリキュラムの編成や指導内容の充実、指導方法の工夫につなげていく。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の共通理解を深め、子どもの経験や気づきが、どのように小学校教育につながっているのかを確かめながら、相互理解に深めていきたいと考えています。

小中部会

「中一ギャップ」という言葉があります。これは、中学校へ進学した際に小学校生活とは異なる新しい環境や生活スタイルなどになじめず、授業についていけなくなったり、不登校やいじめが起こったりする現象のことを言います。小学校と中学校の間にある、様々な違い ①授業のスタイル（教科担任制・定期テストによる学力の可視化・自主的な勉強）②文化（校則・縦社会-先輩との上下関係・部活動）に加え、③新しい人間関係をつくるストレス・不安など…。みんなこれらとつき合いながら中学校生活をスタートしています。

それらの障壁を軽減し、それらに立ち向かっていくたくましい子の育成を願って取り組みを進めます。高島市が力を入れる小学校教科担任制授業を柱に据えながら、子どもを守るだけでなく、自立を促し、これからの変化の激しい社会を生き抜く子を育てることを第一に考えた活動を展開したいと思えます。

中高部会

ここ数年、湖西中学校をはじめ、市内中学校の卒業生の進路の多様化が進み、約3割が市外の高等学校に進学している状況にあります。このような状況を踏まえ、地元高等学校では、学校の魅力化の方向性を示されました。それは、「遠隔地の高校を選択しなくても、進路実現ができる」「将来地域で活躍できる人を育てる」「手厚い指導を実践する」学校づくりです。

中高部会では、中学生やその保護者の皆さまが、地元高等学校が実践されている魅力化を感じ、自らのキャリア形成を考え、そして、目標をもって進路選択をするための一助にするため、①高校の先生の授業を体験、②高校生（湖西中学校卒業生）とのパネルディスカッション、③オンラインを活用した対談等の機会を設けたいと考えています。

中学生と高校生がつながること、こども園から高等学校までの教職員がつながること、保護者地域とつながること、そして、18年間の学びをつなぐこと等を通して、18歳で成人を迎える子どもたちが、自己肯定感を高めつつ、成長に合わせたキャリア形成をしていけるよう支援していきます。

地域連携部会

地域連携部会では、以下の3点に重点を置いて取り組んでいきます。

① 各校のボランティアと各園との連携の強化

「夢の会」（新旭南小）や「希望の会」（新旭北小）、「おくげの花の会」（湖西中）のボランティアの皆さまによる、各園（なのはな園・さくら園）への支援を積極的に進めていきます。

② 各校園の困りごとを積極的に発信

ボランティアの皆さまは、各校園を手助けしたいと思ってくださっています。お言葉に甘え、これまで以上に各校園の“困りごと”を積極的にボランティアの皆さまに伝え、ボランティアの皆さまのご意見に耳を傾けることで、よりよい学校づくりを目指していきます。

③ 新しい連携の形を模索

草刈りや下校見守り等、これまで、ボランティアの皆さまに「していただくこと」が多かったと思います。これからは、子どもたちと一緒に学習や活動に参加していただくなど、持続可能な新しい連携の形を模索していきたいと思えます。